

金沢21世紀美術館3月のプログラム

3
2016

2016年3月に実施される金沢21世紀美術館主催事業についてお知らせいたします。
各催しの告知ならびに当日のご取材など、ぜひ貴媒体にて報道して頂きたくお願い申し上げます。
各事業の詳細につきましては、決まり次第随時お知らせいたします。

開催中の展覧会と関連イベント



出典:『週刊朝日』1956年2月5日号

生誕百年記念 井上有一

開催中～
3月21日(月・祝)

戦後の日本現代美術を代表する井上有一(1916～1985年)の生誕百年を記念する大回顧展です。有一は、戦後まもなく世界的に高い評価を得た数少ない日本の現代の書家です。有一は、紙と墨からなる「書」を現代芸術の文脈の中で、個人の表現物として開花させました。本展では、初期から晩年までの200点を越える代表作によって井上有一芸術の核心に迫ります。1957年、サンパウロ・ビエンナーレ国際展に出品した初期の代表作《愚徹》をはじめ、ポンドや凍らせた墨など、素材と描法に工夫を凝らした60年代、思想と生き様の一致した《貧》などの70年代、また70年代末から80年代へと晩年に向かい豊かな世界を形成した作品群、また一字書だけでなく、他の代表的なスタイルの作品も展覧されます。有一が生涯こだわった型破りで自由な書の世界を、生涯にわたって制作した作品群の紹介を通じ、回顧展形式で紹介いたします。

今福龍太レクチャー「<筆>と<踏み手> —井上有一と宮沢賢治」

講師＝今福龍太(文化人類学者・批評家。東京外国語大学教授)
日時＝3月13日(日)14:00～15:30(開場13:45)
場所＝金沢21世紀美術館レクチャーホール
料金＝無料
定員＝先着70名(予約不要)



BCL + Semitransparent Design
《Ghost in the Cell》2015
© Crypton Future Media, INC.

ザ・コンテンポラリー3 Ghost in the Cell:細胞の中の幽霊

開催中～
3月21日(月・祝)

新しい技術が普及した近未来の問題を題材にした作品で国際的な議論を巻き起こしてきたアーティストユニットBCLが、世界的な人気を誇る日本の歌声合成ソフト「初音ミク」に遺伝子と細胞を与え、生命/非生命の境界、そして二次創作や芸能/芸術のはざまで育まれる現代日本の特異な想像力の可能性を探求します。本展では、共同制作された初音ミクのDNAがiPS細胞から作成された実際の細胞に挿入され、その細胞を使用したBCLのインスタレーション作品《Ghost in the Cell》が展示されます。



コレクション展2 歴史、再生、そして未来

同時開催：栗津潔、マクリヒロゲル2

グラフィックからヴィジュアルへ 栗津潔の視覚伝達論

開催中～
5月8日(日)

本年度のコレクション展1は、私たちにとっての「現在」を問いかける機会としました。それに続くコレクション展2は、近年新たに収集された作品の紹介とともに、既存のコレクションを再解釈することによって私たちの「未来」を考察する展覧会です。様々な国において、また国内の諸地域においても社会的な価値観が短期間で変化してゆく21世紀のなかで、現代美術はどのような可能性を持つのでしょうか。「歴史」や「再生」というテーマのもと、これからの私たちがたどる道程を皆さんと共に想像する機会となれば幸いです。また昨年に続き、「栗津潔、マクリヒロゲル2」も同時開催中。今年度のタイトルは「グラフィックからヴィジュアルへ：栗津潔の視覚伝達論」。1955年の第5回日本宣伝美術(日宣美)展にて《海を返せ》で日宣美受賞以降の日宣美展の出品作品ほか、1960年代の栗津潔のグラフィック及び表現を紹介します。

展示室2～6: 角永和夫、藤井一範、青野文昭、ミカ・ターニラ、ヤノベケンジ、三瀬夏之介 展示室1: 栗津潔

「グラフィックからヴィジュアルへ：栗津潔の視覚伝達論」関連プログラム

原広司講演会「栗津潔と日本の伝統」

講師＝原広司(建築家、東京大学名誉教授)

モデレーター＝林道郎(上智大学国際教養学部教授、美術史家、美術批評家)

日時＝3月5日(土)16:00～17:30(開場15:45)

会場＝レクチャーホール

料金＝無料

定員＝先着80名(申込制)

申込＝Webお申込みフォーム <http://www.kanazawa21.jp>

ギャラリートーク

日時＝3月12日(土)14:00～

集合場所＝レクチャーホール前 会場＝展示室

料金＝無料(ただし本展観覧券必要)

担当キュレーター＝内呂博之

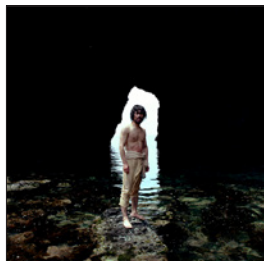


廣村正彰「金沢でJunjlin'」おぼろげ

廣村正彰「金沢でJunjlin'」おぼろげ

開催中～
5月8日(日)

2010年より始まった、デザイナー廣村正彰による映像インスタレーションのプロジェクトです。「Junjlin' ジュングリン」とは、「順繰り」に「ing」をつけた造語。人が無意識のうちに繰り返す行動や、何気ない日常の中に、デザインのきっかけがあると考えるデザイナー廣村が、金沢21世紀美術館で新作「おぼろげ」を展示します。「知っている」と思っていた風景は、視点の少しの変化で簡単におぼろげなイメージになってしまいます。私たちが普段どのように風景を見ているのか、また見落としているのか、デザインワークの思考プロセスで金沢の風景(兼六園・金沢21世紀美術館・東茶屋街)を読み解く本作品を通して体験してください。



アペルト03

坂野充学 可視化する呼吸

1月30日(土)～
5月8日(日)

本展では、坂野充学が2012年に制作した5面のスクリーンによる映像インスタレーション《Visible Breath》を展示しています。坂野は、1977年石川県鶴来町(現白山市)に生まれ、同地で育ち、現在は東京と石川を拠点に活動する映像作家です。東ロンドン大学で美術と映像制作を学び、帰国後、映像による作品を制作してきましたが、近年、地元鶴来の祭りなどの伝統に関心を持つようになりました。その調査を受けて生まれたのが本作品です。「鶴来」が「剣」と同音であり、鉄の生産を通じて古代から出雲や大陸との交流があったことをモチーフに、坂野の解釈をちりばめて制作されました。文字による歴史としては残らない、人々の息づかいが映像によって可視化されます。

鶴来現代美術祭アーカイブ展

日時=1月26日(火)～5月8日(日)

会場=金沢21世紀美術館アートライブラリー

「鶴来現代美術祭」は、1991年より1999年まで鶴来を舞台に7回にわたって開催されました。特に1995年までは、金沢市の姉妹都市であるゲント市の現代美術館の館長であり、1992年のドクメンタのコミッショナーもつとめたヤン・フォートが企画に関わりました。それにより、国際的なアーティストが鶴来に滞在し、鉄加工業など地元の職人の協力を得て制作を行うことが実現しました。本アーカイブ展では、鶴来商工会に残る紙資料や記録写真・映像の展示を中心に、新たに関係者へのインタビューを行い、その記録映像を公開しています。

3月のキッズスタジオ・プログラム



キッズスタジオ・プログラム

ハンズオン・まるびい!

子どもも大人もいっしょに楽しめるスペースです。いろいろな造形遊びで、工夫と発見を楽しもう!

プレイルーム

日時=3月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、21日(月・祝)、26日(土)、27日(日)
13:00～16:00(自由入場)

場所=キッズスタジオ 対象=子どもから大人まで(小さなお子さんは保護者同伴) 料金=無料

(下はプログラムの例です。内容は日によって変わります。)

描いて、切って、書いて、読む!

「いろいろ手のひら絵本」

色をぬった紙を手のひらの形に切って、お話をつくってみよう。



キッズスタジオ・プログラム

親子向け情報・休憩スペース

「まるびい・すくすくステーション」

キッズスタジオ内にある小さなお子様連れの方をサポートするスペースです。
小さなお子さんのお散歩やひと休みするスポットとしても、ぜひご利用ください!

開催日=3月17日までの毎週火曜木曜 10:00～12:30(自由入場)

会場=キッズスタジオ

対象=未就学児とその保護者 料金=無料



アートライブラリー・プログラム

絵本を読もう 「コレクション展2 歴史、再生、そして未来」とともに

絵本の読み聞かせのあと、キュレーターと一緒に作品を見に行きましょう。

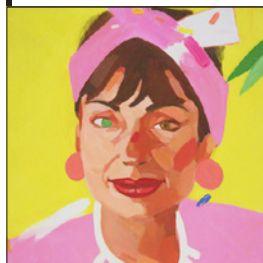
日時=3月19日(土)11:00~(約40分)

対象=子どもから大人まで(幼児は保護者同伴)

料金=無料 集合=授乳室前(キッズスタジオ横)

読み手=大西洋子(ライブラリアン) 作品案内=野中祐美子(キュレーター)

3月のステージ・イベントプログラム



フランソワーズ・モレシャンのおしゃれ講座 ~時代を読む vol.20

マリー・アントワネット

最後のフランス王妃 Part 2

ートリアノン宮殿からギロチン台まで

3月26日(土)
シアター21

アートやファッション、そして現代社会についてモレシャン流の鋭い視点で時代を切り取る人気のトークシリーズ。王制から共和制への移行というフランス最大の歴史的転換点とその象徴となったマリー・アントワネット。今回は前回の続編として、彼女の人生の最後までを学びます。

ドレスコード:マリー・アントワネットに思いを寄せて

日時=3月26日(土) 開場13:30 開演14:00 会場=シアター21 料金=1,500円(当日精算)1ドリンク付き

定員=80名先着順

※友の会会員の方は優先入場特典があります。開場時間までにお集まりください。(入場時に会員証提示)

美術奨励の日 3月12日(土)

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育むよう、金沢21世紀美術館では、「美術奨励の日」を毎月第二土曜日に設けております。「美術奨励の日」は、金沢市民の方が金沢21世紀美術館主催の「コレクション展」を無料で観覧できる日です。総合案内で金沢市民であることを証明できるもの(運転免許証、健康保険証、年金手帳 など)を提示いただき、無料の観覧券をお受け取りください。

3月の休館日

7日(月) / 14日(月) / 22日(火) / 28日(月)

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館

広報担当:落合、中山

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1 TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp

※展覧会・イベントの開催時期や内容等は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。